

## 教員データ

教授
専門基礎
森田 一三
もりた いちぞう

学位	博士（歯学）
学部／大学院	学部/大学院
担当授業科目	<p><b>【看護学部】</b>            情報基礎            看護ふれあいセミナー            保健情報演習            公衆衛生            保健統計            疫学Ⅰ            疫学Ⅱ            看護研究法            卒業研究</p> <p><b>【大学院】</b>            看護研究Ⅰ（量的研究）            統計学            地域保健統計学            地域生活看護学特論            感染予防看護論</p>
研究テーマ	公衆衛生、口腔衛生学、社会歯科学
主要所属学会	日本口腔衛生学会 日本公衆衛生学会（日本公衆衛生学会認定専門家 登録番号 第45号） 日本学校保健学会 日本歯科医療管理学会
主要著書・論文	<p><b>【著書】</b>            ・歯科衛生士のための齲蝕予防処置法 第2版,2017,医歯薬出版（東京）,第5章齲蝕抑制効果の評価およびスクリーニング手法</p>

P43-51,第7章早期齲蝕検出 P119-121,第9章齲蝕抑制効果評価とスクリーニング指標算出 P150-152

・臨床家のための口腔衛生学第5版,2012,永末書店(京都),8章口腔衛生学で用いられる指数(Index)P186-203,11章統計分析教授教員データの実際 P258-281

・予防歯科実践ハンドブック,2004,医歯薬出版(東京),嗜好・習癖・食生活の調査法 P16-17

・衛生学・公衆衛生学実習、2004,医歯薬出版(東京),第5章調査票の作成方法 P115-122,第6章疫学(統計)用語 P123-155

・ファンダメンタル衛生及び口腔衛生,2001,永末書店(京都)

#### 【論文】

・学校保健における世代間連鎖戦略、学校保健研究, 41:1-4,2017.

・電子ペーパーディスプレイの単一文字の読み取れるポイントサイズに対する加齢と視力の影響(Effects of Aging and Visual Acuity on the Legible Point Size for a Single Character on an E-paper Display)(英語)、社会医学研究, 34:19-25,2017.

・日本赤十字豊田看護大学におけるアクティブラーニング支援のための機器導入と利用の状況、日本赤十字豊田看護大学紀要, 12:51-56,2017.

・3D映像のクロストークが立体知覚に及ぼす影響、社会医学研究, 34:65-70,2017.

・モバイル端末における注視点移動にともなう3D立体映像の見やすさ、モバイル学会誌, 6: 59-65,2016.

・ロナルド・フィッシャーの妻、東海学校保健研究, 40:1-12,2016. データの解析の基礎力を高める 第5回 差の検定(3) 一分割表の検定一、学校保健研究, 58:309-314,2016.

・シースルー型スマートグラスに表示した画像観視時の水晶体調節応答、モバイル学会誌, 6:17-22,2016.

・注視点の移動による3D立体映像の見やすさの変化、モバイル学会, 5:15-20,2015.

・モバイル端末における注視点移動にともなう3D立体映像の見やすさ、モバイル学会誌,6: 59-65,2016.

・ロナルド・フィッシャーの妻、東海学校保健研究,40: 1-12、2016.

データの解析の基礎力を高める 第5回 差の検定(3) 一分割表の検定一、学校保健研究,58: 309-314,2016.

・シースルー型スマートグラスに表示した画像観視時の水晶体調

節応答、モバイル学会誌, 6 : 17-22,2016.

・注視点の移動による3D立体映像の見やすさの変化、モバイル学会, 5:15-20,2015.

・早食いを認識している人のビデオ観察法による食べ方の特徴—養護老人ホームに入所している高齢者の食事指導への提言—、日本食生活学会誌, 25:203-209,2014.

・立体映像への慣れによる最大飛び出し認知への効果、映像情報メディア学会技術報告, 38:37-40,2014.

・ Antimicrobial photodynamic therapy using a diode laser with a potential new photosensitizer, indocyanine green-loaded nanospheres, may be effective for the clearance of Porphyromonas gingivalis、J Periodontal Res, 91:591-599,2013.

・近赤外線分光法を用いた2HzEVAシート反復噛みしめ時における前頭前野血流動態の測定、愛知学院大学歯学会誌, 51: 39-44,2013.

・就学前自閉症児の洗口能力と発達年齢の関連性、小児歯科学雑誌, 51:390-395,2013.

・歯科医師国家試験に関する国際アンケート調査、日本歯科医学教育学会雑誌, 29: 238-245,2013.

・ Study on the Risk Factors of Injuries Resulting in Hospitalization in Primary School Students、School Health, 9: 33-43,2013.

・近赤外線分光法を用いた命令嚥下時の大脳皮質における脳血流動態の測定、愛知学院大学歯学会誌, 51: 319-327,2013.

・名古屋掖済会病院における入院下での智歯抜歯術の臨床的検討 専門医における手術症例の評価、愛知学院大学歯学会誌, 51: 121-125,2013.

・頭部の20度前方傾斜が多チャンネルNIRS測定におよぼす影響、愛知学院大学歯学会誌,51: 101-106,2013.

・歯の健康記録手帳「歯のパスポート」を用いた8020運動支援"6歳臼歯保護育成事業"の効果測定、口腔衛生学会雑誌, 63:28-34,2013.

・国内外における比較・分析による歯科技工士国家試験の在り方に関する研究、日本歯科技工学会雑誌, 33: 99-111,2013.

・ビデオ観察法を用いて咀嚼行動を観察する際の観察者間および観察者内誤差の検討、日本食生活学会誌, 23:174-177,2012.

・ビデオ観察法を用いた咀嚼行動観察のためのビデオカメラ設置

条件の検討、食生活研究誌, 33: 12-19,2012.

- ・ 歯科医師臨床研修におけるインシデントの分析、日本歯科医学教育学会雑誌, 28:169-174,2012.
- ・ 日本人における歯周病指数と心臓血管疾患との関連について、日本歯科保存学雑誌, 55: 313-319,2012.
- ・ 中学校および高等学校における球技による顔部負傷の特徴、東海学校保健研究, 36:55-62,2012.
- ・ Impact of interocclusal contacts on infrared laser fluorescence in pits of sound first permanent molars in children、Int J Paediatr Dent, 22: 265-270,2012.
- ・ 大学生におけるデンタルフロスの継続使用の要因についての研究、学校保健研究, 54: 72-78,2012.
- ・ Relationship between Periodontal Status and Levels of Glycated Hemoglobin、J Dent Res, 91: 161-166,2012.
- ・ 全国の小・中学校児童生徒における歯の健康に関する生活習慣の現状、学校保健研究, 53: 446-455,2011.
- ・ Factors associated with Japanese dentists encouraging patients to use dental floss、Community Dent Health, 28: 111-115,2011.
- ・ 歯科衛生士および歯科衛生学科学生のデンタルフロス使用頻度と患者に勧める頻度との関係、日衛教育誌, 1: 33-41,2011.
- ・ 歯科衛生士国家試験客観式多肢選択試験成績と養成校実技実習成績との相関、日衛教育誌, 1: 16-26,2011.
- ・ Is there a relationship between periodontal disease and smoking after adjusting for job classification in Japanese employed males?、Oral Health Prev Dent, 9: 93-99,2011.
- ・ 小学5年生児童における朝の支度に要した時間と歯・口の健康および生活習慣、学校保健研究, 52: 449-453,2011.
- ・ Five year incidence of periodontal disease is related to Body Mass Index、J Dent Res, 90: 199-202,2011.
- ・ 臨床研修開始と終了時における研修歯科医のデンタルフロスに関する認識・態度と行動、口腔衛生会誌, 61: 65-69,2011.
- ・ 歯石除去診療の受診経験と歯科衛生士の職業認知、口腔衛生会誌, 61: 38-47,2011.
- ・ 学生の Sense of Coherence(SOC)と歯科衛生士業務の認知度に関する研究、口腔衛生会誌, 61: 22-29,2011.
- ・ 日本人更年期世代女性におけるソーシャルキャピタルと食意識との関係、食生活研究, 31: 43-50,2011.

- ・ Comparison of oral health and self-rated general health status of undergraduate students in Taiwan and Japan、*Journal of Dental Sciences*, 5: 221-228,2010.
- ・ 近年の小学生における歯科治療経験と歯科恐怖に関する研究、*東海学校保健学会*, 34: 15-24,2010.
- ・ 愛知県内の遊園地、公園等の脱タバコ対策に関する調査、*東海学校保健研究*, 34: 37-44,2010.
- ・ A 私立大学 2 年生における歯科衛生士の業務の認知と健康度、*口腔衛生会誌*, 60: 38-45,2010.
- ・ 住民の歯の健康づくり得点向上のための歯科衛生士訪問およびリーフレット郵送による介入研究、*日本公衛誌*, 56: 795-804,2009.
- ・ Relationships between mandibular cortical bone measures and biochemical markers of bone turnover in elderly Japanese men and women、*Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol Endod*, 108: 777-783,2009.
- ・ 更年期女性のストレス時の食行動について、*日更年期医会誌*, 17: 190-197,2009.
- ・ 愛知学院大学楠元キャンパス教職員の喫煙状況と社会的ニコチン依存度、*愛院大歯誌*, 47: 281-292,2009.
- ・ 閉経後女性の歯周病と骨粗鬆症所見の関係、*Osteoporosis Japan*, 17: 563-569,2009.
- ・ 名古屋市における業態および街区別にみたデンタルフロスの販売状況、*口腔衛生会誌*, 59: 207-214,2009.
- ・ 幼稚園児用歯の生活習慣セルフチェック票「歯のけんこうづくり得点」の作成、*学校保健研究*, 51: 95-101,2009.
- ・ Temporal association of elevated C-reactive protein and periodontal disease in men、*J Periodontol*, 80: 734-739,2009.
- ・ 8020 運動からみた学校歯科保健活動、*学校保健研究*, 50: 405-408,2009.
- ・ 小学生児童の歯と生活習慣により作成した要保護児童のスクリーニング指数試案、*日本公衛誌*, 56: 145-154,2009.
- ・ Development of an oral salutogenic checklist to promote lifelong oral healthiness in Japanese adults、*Oral Health Prev Dent*, 6: 287-294,2008.
- ・ 妊婦の口腔衛生、喫煙および受動喫煙に対する意識と社会的ニコチン依存度、*日禁煙会誌*, 3: 120-129,2008.
- ・ 歯科衛生士の社会的ニコチン依存度と禁煙教育の効果、*日歯周*

- 病会誌, 50: 185-167,2008.
- ・日本と台湾の歯学部学生の喫煙状況と社会的ニコチン依存度、日禁煙会誌, 3: 81-85,2008.
  - ・高校生における口腔の衛生状態とヒトパピローマウイルス (HPV) 保有に関する研究、東海学校保健研究, 32: 3-12,2008.
  - ・小学生における歯列・咬合状態の追跡研究、口腔衛生会誌, 58: 158-167,2008.
  - ・中学校生徒の実力試験における学力の低い者と歯の健康に係わる生活習慣との関連、学校保健研究, 50: 107-115,2008.
  - ・児童における一日の生活リズムとう蝕経験、学校保健研究, 50: 98-106,2008.
  - ・要保護児童のう蝕と生活習慣の状況、子どもの虐待とネグレクト, 10: 25-34,2008.
  - ・岐阜県 T 市における小中学校の児童生徒の生活習慣、愛院大歯誌, 46: 15-24,2008.
  - ・ The Social Image of Dentistry; effects of dental experiences and dental caries status、Aichi Gakuin Dent Sci, 21: 9-14,2008.
  - ・ Gradients in periodontal status in Japanese employed males、J Clin Periodontol, 34: 952-956,2007.
  - ・「高校生 歯・口腔の健康づくり得点」の作成、学校保健研究, 49: 199-208,2007.
  - ・ Is there a gradient by job classification in dental status in Japanese men?、Eur J Oral Sci, 115: 275-279,2007.
  - ・閉経後骨粗鬆症患者の口腔内所見と骨粗鬆症治療に伴う口腔への影響、Osteoporosis Japan, 15: 452-455,2007.
  - ・ Relationship between number of natural teeth in older Japanese people and health related functioning、J Oral Rehabil, 34: 428-432,2007.
  - ・3,4 歳児における乳歯う蝕と食事摂取との関連との関連-食事チェック表を用いた評価-、金城学院大学論集 自然科学編, 3: 1-7,2007.
  - ・ Salutogenic factors that may enhance lifelong oral health in an elderly Japanese population、Gerodontology, 24: 47-51,2007.
  - ・地域在宅高齢女性の食事摂取調査-食事バランスガイドを用いた評価-、日本食生活会誌, 17: 70-75,2007.

